

氷川学園広報部

〒869-4602 八代郡氷川町宮原1116

TEL(0965)62-4081

FAX(0965)62-4080

Mail hikawagakuen@seiryu-hikawa.com

HP <https://hikawagakuen.com/>

氷川学園

あゆみ

社会福祉法人

清流会



謹賀新年

歳月

丑年、新年あけましておめでとうございます。

コロナ収束の見通しが立たない中、「おめでとう」という言葉が多少憚られますが、節目は節目として、時々、の習わしを粛々と執り行い、人としての生活を整えていくのは、こういう局面だからこそ、必要不可欠なことではないかと感じる。

にしても、今年は全国の多くの人たちが静かなお正月を過ごされたのではないのでしょうか。我が家もいつもの母と二人の生活に隣に暮らす娘夫婦と、おせちを囲んだもの、例年の園に残る利用者さんたちのお年始も、親族の集まりも自粛となり、何とも寂しい三が日となった。氷川学園のお正月も、今年は異例であった。（全国の多くの施設も同様に）入所の帰省を中止とし、開園以来初めて全利用者さん揃っての年越しとなった。当然スタッフの勤務体制も休暇制とはいかず、いつもと違うからこそ、より一層楽しい時間をと、入所棟内に特設神社、おみくじまで準備してくれ、みんなの喜ぶ顔が見れたことは幸いである。

私自身は三十一日から三日までは休みを頂いたが、大晦日、紅白歌合戦が始まると同時に相談支援からの連絡、電話対応、状況確認終えた時、紅白歌合戦は終わった。私は自宅にいて電話を受けるだけだが、相談支援専門員はこの間ずっと現場で当事

者やご家族、関係機関と向き合っており、同行している。同日夜刻、氷川・入所部から、発熱と食事拒否の連絡、これとて私は自宅から電話で指示を出すのみで、現場のスタッフは全利用者さんへの支援と同時進行で医療機関との連絡の下で動いている。翌元旦の朝には平熱に戻り、昼には食事も入るようになり一安堵した。

医療や介護、障がい支援の現場も、年末年始がないのは例年のことだが、今年は格段の覚悟を持つての年越しとなったことは否めない。現場で動き続けてくれている仲間たちの存在にあらためて感謝している。

牛は農業など大変な労働を人と共に働き助けてくれると、丑年は「耐える」という意味と「これから発展する前触れ・芽が出る」年とも言われる。コロナ禍となり、やがて一年、まだ暫くは耐え忍ばなければいけないのは現実であるが、必ずやその先に希望が有り、耐えてきた時間を経ての芽吹き、春を迎えられると信じている。

これから発展する前触れとされるこの丑年今春に「社会福祉法人清流会」は開設四十周年を迎える。歳月の流れの速さにあらためて驚いている。三十周年を祝い、みんなで記念パーティーを楽しんだことが昨日のことのようにある。当時（現在も同）「氷川町町長・藤本一臣氏」からの祝辞で、

「志が大事である。どんなに歳月が流れようと開設時の志が一貫してぶれず、それにあり続けることが大事であり、それがこの清流会にはある。」という

桜の樹の下で

身に余る言葉をいただいたことは、十年の歳月を経ても記憶に新しい。あの日からあつという間の十年、この歳月は法人を取り巻く環境、取り分け人的環境を大きく様変わりさせた。創設者である初代施設長・西坂哲を見送ったことは、私にとり公私ともに大きい。そして、初代の開設時の志を大きく占めていた娘（私にとつて妹）を見送り十七年目の春を迎えるが、この二人の存在を（形として）なくしても尚、一時も時は止まることなく流れている。その中で、残された私たちが「彼らと共に在ること」も一時も止まってはくれない。開設の志が十分に果たせているかは、まだまだ：であるが、清流会の全職員が、今日も歩みを止めず、皆と共に在ることを自らの選んだ道として精進してくれているものと信じる。

春には四十周年を記念して、式典や祝賀会等の開催は、現段階では困難だとしても、「記念誌」にあたるものをと、法人全体での作成を考えている。現場では担当スタッフを中心に、現状（いま）ならではの面白い智慧がはじめていくように、（勿論私自身も携わるが）多くのことは皆に任せて、出来るだけ老婆心を抑えて？その経過と出来上りを楽しみに眺めていきたいと思っている。

そんな作業のおり、過去の「あゆみ」を開いてみると、二十五周年記念号に、当時入所利用のIさんの願いが「みんなとグループホームみたいな小さな家でくらしたい」と綴られて

いる。十五年の歳月が流れた今、Iさんはこの町のグループホームで仲間と暮らされている。ようやくIさんの願いが叶えられた。

四十年前の開所式の日のIさんの姿を、当時大学生だった私は鮮やかに覚えている。衝撃的な場面だった。開所を祝う賑やかな式典の裏で、「頼むけんここにおつてくれ」という母親の前に「何で私がこやん所におらなんと」と廊下の隅に佇んでいたIさん。親子とも涙顔であった。

遠く親元から離れて暮らすことがないようにと、地元に入所施設を作った初代の想い、ここが開設したから親元から離れて入所してきたIさん。何とも皮肉なことだった。見てはいけないものを見てしまった気がした。知つてよかったのだろうか？と。あの場面を二十歳の私に見せてくれたのは偶然ではなく必然の出来事だったと、四十年の歳月を経た今、なお強く思う。同じような思いを背負つて、清流会に氷川学園に出会つて共に在る人たちに、何を成すべきかを教え続けてくれるひと場面である。

今、地域の人たちに見守られながら、三人の仲間と暮らすIさんの笑顔を見て、私たちは少しは役に立ててきたのだろうか、四十年という歳月を思い返している。

新しい年が世界中の皆さんに少しでも笑顔をもたらす日々であることを心より祈り、年頭のご挨拶とさせていただきます。

施設長 西坂千賀子

研修の窓

【研修名】

2020年度

わるつ発達障がい連続講座

フォーローアップ研修

【主催者名】

熊本県南部発達障がい者支援センター
わるつ

【日付】

令和2年 10月 31日(土)

・事例報告「自立に向けて」
アセスメントに基づく余暇支援
報告者 児童発達支援事業所さくら
保育士 大石 愛美氏

事例報告では余暇時間において自立して遊ぶことが出来る取り組みであり、取り組むまでに多くの評価を実施し、山の情報の中から活かせる評価を取り入れ、目標の設定がなされていた。評価においても細かく分けてあり、一つの内容にもスキル・合格・芽生え・不合格の三段階に加え、興味の高さの項目が設けられていた。取り入れる活動においては、スキルが合格・芽生え、興味が高・中だった中から選び設定し、動き・動画を見る限りでは受け入れもスムーズで集中して取り組まれている様に感じたが、そこから再評価を行う、自閉症の特性に合わせて、量の設定を明確にし「終わり」を分かりやすく伝えることで目標の達成に繋がらせていた。発表を通して、準備段階・取り組み後の評価の重要性を再確認することが出来た。又、わるつの反省点で「出来る」と思って設定したことが逆に難しく、「思い込みで本人の能力以

上のことを求めてしまった」との話があった。自分が支援を行う上で同じような間違いをよくしていると感じた。あれが出来たらこれもあるだろうという思い込みで支援を進めると、悪いイメージや失敗の経験に繋がってしまうと思う。そうならないように、能力を把握するための評価、評価に基づいた目標の設定と何を指して設定したのかを確認しながら支援を進めることが大切であると、事例を通して改めて学ぶことが出来た。

・講話「自己理解 個の自立に向けて」
講師 川崎医療福祉大学医療福祉学部
こども医療福祉学科
重松 孝治氏

講話での自己理解については、当施設では重度の知的障がいや併せ持った自閉症の方が殆どであり、重ね合わせて話を聞くこと難しく感じてしまったが、支援者がその方を理解する為の視点、状況や情報を整理する上での意識の持ち方という点では共通するものがあった。その方を理解しているつもりでも、苦手(弱み)とされる部分に意識が向いてしまい、偏った見方をしてしまう事が多々ある。自閉症の支援において、苦手な事を得意な事で補うという基本的な事は、頭では分かっているが、その方の情報を発信する際、苦手な所に焦点を合わせて説明してしまい、得意(強み)の情報が薄くなってしまう。遅れが多い当事者の方達でも他者と自分を比較し、得意な事を理解されていない事があるとの話があった。支援者も利用者様同士を比較してしまい、得意とされる部分に気付かない、見落としていた事もあるのではないかと感じた。苦手とされる部分に意識が向き

過ぎてしまうと、問題行動と思われる動きをされる利用者様に意識が向き、動きが少ない利用者様への支援が進まない恐れがある。そうならない様にお一人お一人の得意(強み)とされる部分を見る意識を持つ事、そこに焦点を合わせて支援を進めていく事が大切だと感じた。
(サービスマネジメント責任者 本村 洋介)

【研修名】

園内研修

2020年度職員研修

フォーローアップ研修

(課題分析の実践)

【講師】

熊本県南部発達障がい者支援センター
わるつ

西坂亮子氏

竹田将氏

【日付】
令和3年 1月 9日(土)

研修を受けて、課題分析の重要性を学ぶことが出来たと思います。本人の行動・様子については、詳しく記録を取る力、見た時の状況を表現する力に身に付けなければならぬと思いましたが、評価を行い、手立てを考える際に、動画を観ていたにも関わらず、なかなか手立てを考えつく事が出来なかった為、今以上に考えて支援に取り組みなければならぬと思ったのと同時に、もっと職員間での情報の共有・交換を強く意識しなければいけないと感じました。これからの支援にしっかりと役立てていきたいと思えます。
(支援員 二日市 究)

今回の研修では、以前学んだ課題分析を再度学び直せたと思います。関与

自分の支援方法・記録の書き方などは大丈夫だろうか・・・と考えさせられました。実例では、動画を2回観て本人の様子を記入する事が出来ました。本来の支援では1回しかありません。そのため、本人の行動・様子をしっかりと観察し、手立てを考察しなければならぬと実感しました。今後、研修で学んだ事を支援に繋げていこうと思えます。
(支援員 今村 貴子)

課題分析により、短い行動単位に分けたことで、どこが出来て、どこが難しく、どこだったら出来るのかが整理できた。そのためには、日頃の記録で具体的に事実を残すことで、他支援者との共有ができる。語彙力を育てる必要があると思った。支援者のプロンプトは手順書やカードを作った終わるのではなく、道具の使い方を教える、関わりの量、過ぎず足りずにならないようにプロンプトのフェイディングをしていく。
支援者によって、利用者様が同じ動きができるように、職員同士の話し合いや考えの統一を持って支援を行っていく。
(支援員 伊佐 優美)

新型コロナウイルス感染症拡大・感染予防により、今期参加予定していた研修等は、延期又は中止となり、法人内での研修に重きを置いていきます。
各事業所内での感染対策・予防等、それぞれでしっかりと対応が出来てくるように、日々取り組んでいます。住みにくい場にならないよう、環境が変わらぬよう、楽しい毎日を過ごせたらと思います。

氷川からの冬だより



完成!!

生地をコネコネ:



黒糖まんじゅう

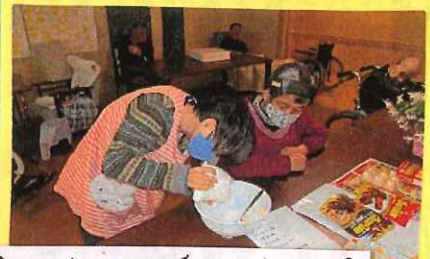
調理



カワイイ仕上げがり☆



カップケーキデコレーション



今日のおやつは手作りクッキー!



ミツささり展

外出

栽培

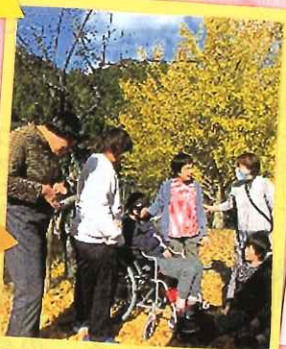
彼岸花の定植



清掃活動



たくさんのご来場
お買い上げありがとうございました



イチョウの絨毯の上で



クリーン作戦☆



タペストリー完成!!

絞り染め



布地をひもで巻いて。

アート活動



お花のペンチアート



梅の花 スタキは壁飾り



アルバム制作



レクリエーション

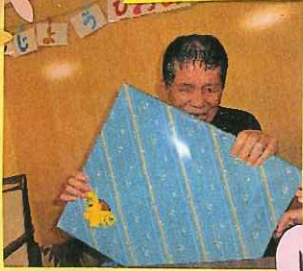


ボール送りゲーム



輪っか回し大会!!

誕生日会



11月



お誕生日おめでとうございます!



プレゼントにニコリ😊



12月



笑顔でピースサイン

クリスマス忘年会



光明のイルミネーションと大きなツリー



プレゼントは何かな〜?



みんなで食卓につけたツリーを囲んで



サンタクロース登場!!

やったー!!!



テイクアウトのチキンにサボイッチ



クリスマスプレゼント



千賀子さんサンタと♪



おとそ

お正月



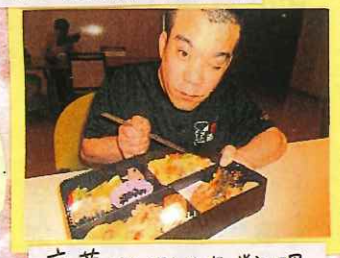
今年は皆で迎えたお正月



良い年になりますように



おみくじも引きました!



豪華なおせち料理



福岡信幸様 賀久博彦様 松岡順子様 増住公成様 吉見明美様
 中村カツ子様 高三渚宣英様 蓑田絹江様 林田清次様
 吉野信久様 園田昇様 松村君夫様 釜敏男様 嶽本拓夫様
 平本靖二様 造道康一様 赤坂春子様 徳永隆二様 西本勝彦様
 山本千鶴様 千野真由美様 那須商店様 福祉美容アネモネ様
 社会福祉法人茜会 あかね園様 社会福祉法人灯会 草笛が丘様
 (株)クマモトメディカル様 (株)田河東洋男商店様
 日本製紙八代サポート(株)様 (株)速永工務店様
 (株)トータルメディカルサービス様 ケアパーク(株)様
 (有)宮原調剤薬局様 セコム(株)様



氷川町役場様<花いっぱいプロジェクトにて頂きましたお花🌸施設内各所に飾ってます♪>



年男・年女の 皆さん!!



(株)トータルメディカルサービス様より
渾身のお弁当です☆
 美味しかったです♪

今年度のクリスマス忘年会は、
 新型コロナウイルス感染拡大防止の
 為、学園内にて分散化させて実施して
 います!!w(^o^)w
 (※例年八代ホワイテパレス様で実施)

編集後記

2021年明けましておめでとう
 ございます。
 この度、あゆみ冬号(127号)を読んで頂きありがとうございます。
 昨年より蔓延している新型コロナウイルスの影響で皆さんの生活も一変していると思います。学園でも利用者さんの生活・活動・行事等、様々な所に影響がありました。が、広報誌を通して
出来る事 利用者さんの様子や経過を発信します。
 今年が皆さんにとって、良き年になることお祈りします。

【行事】

毎月開催
 ★利用者自治会
 たけのこ会
 ★誕生会

行事につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、状況により対応とします

